

# ヤマノイモ科 3種の根茎

石 沢 進

中魚沼郡津南町反里口の台地海拔540mに生育していたヤマノイモ科3種ウチワドコロ・オニドコロ・キクバドコロの根茎を朱雁氏が採集され、丁寧に洗って観察されたので、その写真を写させて頂いた。根茎が地下部に埋もれているものを見る機会が少ないと思い、ここに掲載してみた。

改訂新牧野日本植物図鑑(2000)の根茎の解説は次のようである。

ウチワドコロ:「根茎は多肉の円柱形で、地中に長く横たわる。」

オニドコロ:「茎は肥厚して横に長くのび、まっすぐなるものや、途中曲がって来るものもあり、ひげ根を出す。これは真の根茎でヤマノイモのいもとは形態学的全くちがう。」

キクバドコロ:「肥厚した根茎は横たわる。」

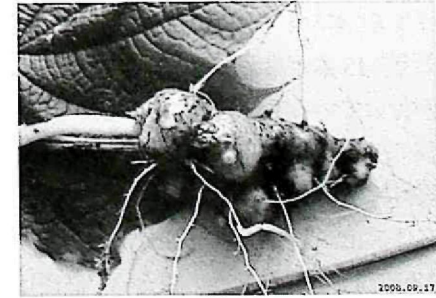
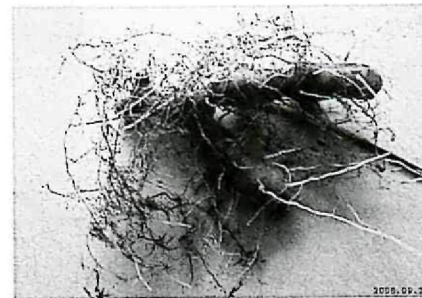
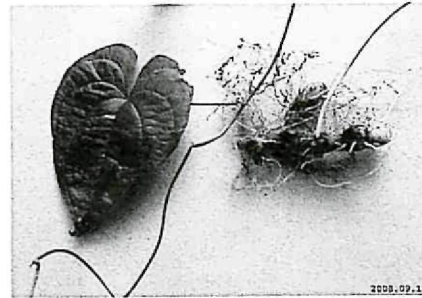
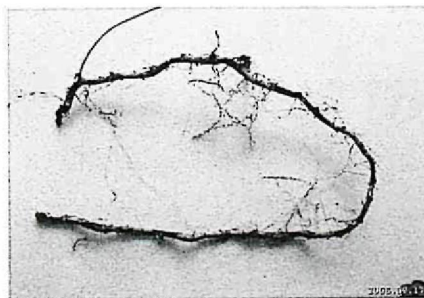
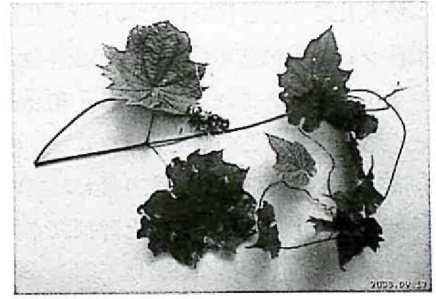
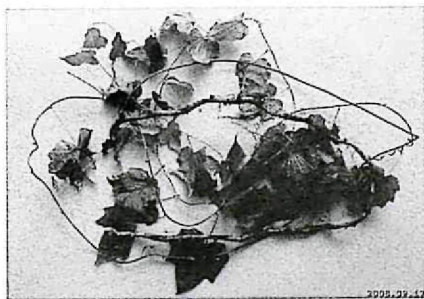
[参考]

ヤマノイモ:「地中に直下している長くて大きな円柱形の多肉根を持っている。この根は茎の基部についた枝の下側だけのびた特殊なものである。」

掘り上げた3種の根茎がそれぞれ標準的な形態であるか、どうか多くの個体について見直す必要があるかもしれない。ウチワドコロ(写真左3枚)は長くのび、オニドコロ(写真中3枚)も長短があり、二股に分かれるものもある。キクバドコロ(写真右3枚)肥厚した根茎が地下に真っ直ぐのびて肥厚しているように見える。

この写真を参考に各地のトコロ類の根茎を比較して、異なる情報があったらご教示願いたい。

根茎の提供して頂いた朱雁氏に謝意を表します。



ウチワドコロ

オニドコロ

キクバドコロ